



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健

令和元年7月16日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

「太陽系の歴史のかけらを手に入れた」

校長 小川 高弘

7月11日、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の探査機「はやぶさ2」が、地球から2.4億キロ・メートル離れた小惑星「リュウグウ」に再着陸したというニュースが入ってきました。前回（平成22年）の「はやぶさ」は世界で初めて小惑星から表面の物質を持ち帰ることに成功しましたが、今回の「はやぶさ2」は、さらに、人工クレーターを作り、地下から露出した岩石の破片などを採取できた可能性が高く、成功していれば、小惑星の地下の岩石の採取は、世界初となります。

「太陽系の歴史のかけらを手に入れた。」プロジェクト・マネージャーの津田雄一さんが会見で話していました。「リュウグウ」は、地球と火星の軌道付近を回る直径約900メートルの小惑星で、有機物（炭素を含む化合物）や水を多く含む天体と考えられています。炭素と水は、地球上の生物の基本的な要素であり、地球生命の原材料とも言えるものです。太陽の光や放射線で風化していない砂や石を、約46億年前に太陽系が誕生したころのままの姿の物質として



調べることで、太陽系の成り立ちや生命誕生のなぞに迫れる可能性があります。

今回の着陸は今年2月の着陸に続く2回目です。JAXA内でも、2回目の着陸に慎重な意見もありました。危険を冒して、地下の物質を採取するよりも、1回目に採取した砂を持ち帰ることが重要だという考えがあったからです。しかし、「はやぶさ2」の動きの精度を高めるために、10万回以上のシミュレーションをこなし、センチ単位で制御できるようになりました。ここまで努力してきたことを、あきらめてしまったら、うまくいく可能性がゼロになってしまいます。まわりの意見に左右されずに、冷静に判断できたのは、努力してきたことで生まれる自信があったからです。「はやぶさ」と比べては申し訳ありませんが、私たちの日常生活においても、どんな時にも「あきらめない」気持ちを大切にしたいものです。今回採取した物質は、令和2年末に地球に届くそうです。そこからどんなことが分かるのか、今から楽しみです。

【夏季休業中の学校閉庁日の実施について】

令和元年8月13日（火）～16日（金）は学校閉庁日です。

※やむを得ない場合を除き、部活動も原則として実施しません。

※学校閉庁期間中は、教員不在となります。転出入の手続きや学校への相談、お問い合わせは上記の期間外にお願いします。

○ ノースカロライナ州視察団来校 7月8日(月)

ノースカロライナ州からの視察団が来校しました。チャペルヒル高校を中心に日本語を勉強している高校生8名と引率の先生方の視察団です。英語の山下先生がイーストチャペルヒル高校に通っていた時に教わった先生方との縁で、昨年に続き、視察団の訪問となりました。

体育館での全校歓迎セレモニーでは、校歌を紹介し、合唱部と1年生が歌のプレゼントをしました。また、今回は、視察団の引率の先生から、海外で暮らす日本人としての経験や思いなどを聞くこともできました。その後、1・2年生は学年ごとに交流し、3年生は、高校生がクラスに2名ずつ入り、一緒に昼食を食べました。午後は、3年生がクラスで班ごとに、英語で日本文化の紹介をし、最後に茶道部が抹茶のおもてなしをしました。外国の方々と日常的に接する機会が少なく、最初は遠慮がちだった生徒も積極的に話しかけるようになった頃には、終了の時間となってしまいました。今後の国際理解教育に生かせることを期待します。



○ 職場体験 7月9日(火)～11日(木)

2年生が地域の事業所で職場体験を行いました。社会の一員として働くことの意義を見つめる機会となる貴重な経験となりました。すべての仕事が誰かの役に立つことや人と人との繋がりを



感じることで、仕事に対する熟練のこだわりにも魅了されたことなど、たくさんを学びました。ご協力いただいた54カ所の事業所の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



岩崎先生 女兒出産

5月11日から出産のためにお休みになっていた音楽科の岩崎郁恵先生が、7月3日に無事女兒を出産しました。母子ともに健康に過ごされています。



【学校への電話連絡について】

2学期始業式(8月28日)以降、音声自動応答装置を導入します。

※お問い合わせは、業務を行っている日の下記の時間中にお願います。

小学校は7時45分から18時まで

中学校は7時45分から18時30分まで

※児童・生徒の生命や安全に関わる重大事態がありましたら、警察等への連絡を優先してください。

※上記時間中でも、勤務時間外の場合、教職員が不在の場合がありますので、ご了承ください。